

# 平成 30 年度第 3 回阿波おどり運営協議会 会議次第

平成 30 年 9 月 27 日（木） 午後 3 時 00 分～  
徳島市中央公民館 3 階 302 会議室

- 1 開 会
- 2 議 題
  - (1) 阿波おどりの総括について
  - (2) 人出の状況について
  - (3) チケットの販売状況について
  - (4) 阿波おどり振興協会の総おどり強行に対する対応について
  - (5) 阿波おどり事業の検証方法について
- 3 そ の 他
- 4 閉 会

## 〔別添資料〕

- 資料 1 阿波おどりの総括について
- 資料 2 人出の状況について
- 資料 3 チケットの販売状況について
- 資料 4 阿波おどり振興協会の総おどり強行について
- 資料 5 阿波おどり事業の検証方法（案）について

平成 30 年 9 月 7 日

## 阿波おどりの総括について

今年の阿波おどりは、新たな運営体制で初めての開催となったが、当初、開催自体が危ぶまれる中、まずは無事開催できたことに対し、ご支援・ご協力をいただいたすべての方と、お越しいただいた県内外の皆さまに感謝申し上げる次第である。

また、4月26日に、新たな主催者である阿波おどり実行委員会を立ち上げたものの、実質的に準備を進めることができたのは、5月21日に栈敷を取得してからであり、2か月半余りという、非常に限られた時間で、阿波おどりを無事開催できたことから、今年の阿波おどりは、大いに評価できる。

阿波おどりは、徳島が世界に誇る重要な観光資源であり、市民にとっても、生活の一部となっている貴重な伝統芸能である。その阿波おどりを未来に向けてしっかり繋げていくために、今後においては、阿波おどり実行委員会において、今年の阿波おどり事業をしっかり検証し、見る方も踊り手の皆さんも、これまで以上に楽しんでいただけるよう、取り組んでいくこととする。

平成 30 年 9 月 7 日

## 人出の状況について

期間中の天候は、8 月 12 日から 14 日までの 3 日間は快晴であったものの、最終日は雨が降る中での開催となった。

この夏の阿波おどりは、前夜祭や有料演舞場における演出の変更とともに、秋田町おどりロードの新設や、元町演舞場の変更などにより、にぎわいの創出に取り組んだが、期間中の人出は、昨年と比較して 15 万人減の 108 万人であった。

この要因としては、曜日の配列が良くないこと、近隣の県で大きな被害をもたらした西日本豪雨の影響、連日猛暑日を記録した異常気象の影響、最終日の雨、さらには阿波おどりに関するネガティブな情報などがあるのではないかと考えている。

	12 日	13 日	14 日	15 日	計
平成 26 年度	32 万人	30 万人	26 万人	26 万人	114 万人
平成 27 年度	34 万人	28 万人	29 万人	32 万人	123 万人
平成 28 年度	35 万人	30 万人	28 万人	30 万人	123 万人
平成 29 年度 ア	35 万人	35 万人	29 万人	24 万人	123 万人
平成 30 年度 イ	33 万人	30 万人	27 万人	18 万人	108 万人
イーア	△2 万人	△5 万人	△2 万人	△6 万人	△15 万人

なお、人出の推計方法については、様々な手法があることから、今後、調査・研究していきたい。

平成 30 年 9 月 7 日

## チケットの販売状況について

【図 1 チケット販売率の状況】

(単位 枚、%)

区分	29 年度	30 年度			差引	
	販売率 ア	売出数 イ	1 回当たり	販売数 ウ	販売率 ウ/イ エ	エーア
前夜祭	83.5	9,849	(3,283)	7,328	74.4	△9.1
選抜	98.2	9,636	(803)	8,882	92.2	△6.0
演舞場	84.4	106,813	(13,351)	70,998	66.5	△17.9
計	85.3	126,298		87,208	69.0	△16.3

【図2 有料演舞場の状況(日別)・対前年度比較】

(単位 %)

日	演舞 場名	平成29年度 ア		平成30年度 イ		差引 イーア	
		1部	2部	1部	2部	1部	2部
12	市役所	99.9	98.1	100.0	44.1	+0.1	△54.0
	藍場浜	100.0	100.0	100.0	95.7	0.0	△4.3
	紺屋	100.0	99.8	100.0	79.0	0.0	△20.8
	南内町	100.0	100.0	100.0	71.2	0.0	△28.8
	計	100.0	99.5	100.0	76.1	0.0	△23.4
13	市役所	97.8	87.6	62.2	59.6	△35.6	△28.0
	藍場浜	99.9	95.7	100.0	81.5	+0.1	△14.2
	紺屋	98.1	72.9	88.3	56.7	△9.8	△16.2
	南内町	99.8	89.8	84.3	47.7	△15.5	△42.1
	計	99.1	88.1	86.2	64.4	△12.9	△23.7
14	市役所	91.2	49.4	46.2	17.7	△45.0	△31.7
	藍場浜	99.7	71.5	89.6	53.2	△10.1	△18.3
	紺屋	92.1	62.1	62.1	58.7	△30.0	△3.4
	南内町	87.0	98.8	51.1	66.4	△35.9	△32.4
	計	93.6	71.0	66.4	49.8	△27.2	△21.2
15	市役所	53.5	27.2	37.0	11.6	△16.5	△15.6
	藍場浜	91.1	49.1	70.7	37.8	△20.4	△11.3
	紺屋	57.7	50.7	48.4	40.8	△9.3	△9.9
	南内町	50.2	99.9	32.6	60.6	△17.6	△39.3
	計	67.5	56.1	50.7	38.0	△16.8	△18.1
計	市役所	85.6	65.7	61.4	33.3	△24.2	△32.4
	藍場浜	97.7	79.1	90.1	67.1	△7.6	△12.0
	紺屋	87.0	71.4	74.7	58.8	△12.3	△12.6
	南内町	84.2	97.1	67.0	61.5	△17.2	△35.6
	計	90.0	78.7	75.8	57.1	△14.2	△21.6

平成 30 年 9 月 7 日

阿波おどり振興協会の総おどり強行について

雑踏事故等の発生防止の観点から、阿波おどり振興協会に対し、これまで南内町演舞場において阿波おどり振興協会が実施していた「総おどり」と称する大規模なおどりは実施しないよう、再三にわたり要請してきた。

そのような中、阿波おどり振興協会が、8 月 13 日に、両国橋南詰おどりロードにおいて、雑踏事故が発生するリスクがあったにもかかわらず、総おどりを強行したことは、極めて遺憾である。

今後の対応については、今年の阿波おどり事業全体を検証する中で、しっかり検討していきたい。

平成 30 年 9 月 7 日

阿波おどり事業の検証方法（案）について

今年の阿波おどりは、新たな運営体制となって初めての開催となり、様々な課題もあったことから、有識者会議を設置して、しっかり検証するもの。

1 委員（案）

弁護士、公認会計士、旅行業関係者、市内宿泊業関係者、おどり連関係者等

2 人数

5～7 人程度

3 対象

- (1) 踊りの演出方法
- (2) チケットの販売方法
- (3) 契約のあり方
- (4) 人出の推計方法
- (5) 運営体制 など

4 スケジュール

9 月下旬に有識者会議を設置し、3 回程度会議を開催し、年内には阿波おどり実行委員会に対し、提言書をいただくこととする。

阿波おどり運営協議会名簿

平成 30 年 9 月 27 日現在

徳島市両国橋南商店振興組合	理事長	阿部 征佑
徳島県阿波踊り協会	副会長	岡 秀昭
徳島県商工労働観光部観光政策課	課長	岡島 啓治
四国放送(株)	常務取締役営業編成 局長兼ラジオ局長	岡本 和夫
一般社団法人徳島県バス協会	会長	金原 克也
徳島県阿波おどり保存協会	会長	喜多 宏思
徳島中央警察署	地域官	栗林 規
徳島県県土整備部都市計画課	課長	鍬田 耕市
日本航空(株)徳島支店	支店長	坂本 優子
全日本空輸(株)徳島支店	副支店長	鈴木 敦
徳島市	理事	須藤 浩三
徳島市旅館組合	理事長	住友 武秀
紺屋町共栄会	会長	高瀬 文夫
国立大学法人 徳島大学	教授	玉 真之介
徳島市両国本町商店街振興組合	理事長	新居 綾路
徳島市東新町1丁目商店街振興組合	副理事長	福田 典彦
徳島文理大学	徳島キャンパス学生 部部長	町口 雅治
国土交通省四国地方整備局徳島河川 国道事務所	所長	宮藤 秀之
徳島市消防局	次長	森 良光
徳島県旅館ホテル生活衛生同業組合	理事長	森浦 源泰
日本放送協会徳島放送局	局長	安原 裕人
四国旅客鉄道株式会社	徳島企画部長	山本 仁志
徳島市土木部	部長	横山 敏春
四国大学	学生支援担当部長	渡部 俊彦

(氏名 50 音順)